

学校運営協議会議事録

校名	大阪府立東住吉高等学校
校長名	西田 恵二

開催日時	令和6年11月9日(土)10:45～12:00
開催場所	東住吉高校 校長室
出席者(委員)	竹内会長、川本副会長、名和委員、南野委員、山本義彦委員、山本由歌委員
出席者(学校)	西田校長、和田教頭、多田事務長、安達首席、成川首席
傍聴者	
協議資料	令和6年度学校経営計画及び学校評価、授業アンケート結果 令和7年度教科書一覧表
備考	

議題等(次第順)	
報告 ・令和6年度学校経営計画取組みの進捗状況 ・授業アンケート ・令和7年度教科書選定結果	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
<p>【取組みの進捗状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸能文化科の情報発信は個人が特定されないのか 活動についての情報発信のため、誰がどこにいるかなど特定されないようにしている。 ・授業見学の成果はどうだったか 教員は、昔はどうわかりやすく説明するのが重要とされていたが、今は生徒が何を考えて取り組むのかが大事となる。静かに考えるのがいいのではなく、対話を通じて答えを導く授業展開が浸透している。自他の教科を見学する期間を設定することで、生徒の学びが深まる仕掛けをどうするかについて、教員が考える機会となった。 ・海外スタディツアーの内容について 希望者が参加し、本年度も姉妹校がある台湾へ行った。観光、学校交流に加え、現地学生とのB&Sプログラムを通して、語学力を磨いた。 ・いじめは最近ニュースでも毎日のように見聞きする。SNSなど家でも気付きにくいところがあるが、どのような指導をしているのか 顔を合わせて話すことと画面上でのやりとりは感情が伝わらないこともあるので、認識が異なる。ネットの使い方、注意すべき点などマナー講座を行っている。またいじめアンケートを通して、どういった行為がいじめとなるのかを話し、必要に応じて聞き取りを行っている。 <p>【全体を通じた意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府立学校の状況はどんどん厳しくなっているが、教員が共通認識を持って、学校としてどの方向に向かっていくのかを危機感を持って取り組んでいく。 ・私学の授業料無償化の成果が今後わかる。公立も入試制度が変わることで早く進路を決められることがいいと思う中学生を獲得できるのではないかと。府教委へ現場の頑張りを是非伝えてほしい。 ・高校進学に際して、府民は経済面優先で選ぶ家庭が多いが、東住吉高校は全人教育をしっかりとっている。勉強以外もたくさんの経験をさせてくれる。そういった魅力をどう発信していくか。他の公立高校では定員割れなど厳しい現実がある。公立の良さを全面にアピールしてほしい。 ・2つの学科に加えて共生推進教室を運営するには校長のマネジメント力が問われる。教員研修のアンケートの肯定的回答が90%というのは校長の力を感じる。 	

次回の会議日程	
日時	令和7年1月24日(金)14:00～16:00
会場	東住吉高校 校長室